



全国でただひとつの医科大学附属高校です

川崎医科大学附属高等学校

〒710-0002 岡山県倉敷市生坂1661 phone 086-462-3666
http://www.kawasaki-m.ac.jp/highschool/

川崎 医科 大学 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 phone 086-462-1111
川崎 医科 大学 附属 病院 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 phone 086-462-1111
川崎 医療 福祉 大学 〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 phone 086-464-1004
川崎 医療 短期 大学 〒701-0194 岡山県倉敷市松島316 phone 086-464-1033
川崎リハビリテーション学院 〒701-0192 岡山県倉敷市松島672 phone 086-462-1111



**ただ病気を治すだけじゃない。
患者さんに信頼されるドクターになりたい。**
杉山 元紀さん
川崎医科大学附属高等学校2年。

寮生活は、若い魂を磨いてくれる。

和孝さんも、大学時代に全寮生活を体験している。当時を振り返る横顔も、またわやかだった。
若い時代に多くの仲間と一緒に生活する。この経験は貴重です。幅広い交流ができるし、自分と違う考え方を吸収することもできる。自己形成という意味で、大きな体験でしたね」
そんな父は、息子が選んだ高校の理念を知つて、深く頷いたといつ。外科を志望する彼の胸に、その言葉は、いま重く響いている。

「良医を育てる」この方針に共感しました。医師は患者さんあつての仕事です。だから息子には、華やかな名医よりも、誠実でしなやかな「良医」をめざしてほしい。そのため大切なのは、まず患者さんと正面から向き合うこと。つまりコミュニケーションなんです」
もう一度、名刺の文字を確かめてみた。そこに綴られたふたつのアルファベットは、父の信念に違いない。それは同時に、医師への道を歩みはじめた我が子に示す道標のようにも見えた。■

**華やかな“名医”か、しなやかな“良医”か。
めざす道は、もちろん決まっている。**

医師に求められる生活習慣。

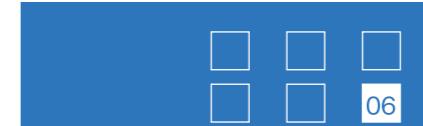
男女ともに全寮制。身のまわりのことはすべて自分でしなくてはならない。中学まで掃除も洗濯もしたことがなかった元紀くん。とまどいの日々のなかで、かつて父に告げられた言葉を想い出した。

「医師には、どんな小さなミスも許されない。だから、普段からきちんと計画をたてて生活する習慣をつけておきなさい。外科を志望する彼の胸に、その言葉は、いま重く響いている。

そんな父の背中を眺めてきた若い瞳が、いま、医師“という未来を見つめている。長男の元紀くんが通っているのは、川崎医科大学附属高校。全国で唯一の「医師をめざすための高校」である。

—— DENTAL COMMUNICATION
手渡された名刺の「杉山歯科医院」の下には、そんな文字が記されていた。さわやかな笑顔にのぞく歯。その白さが印象的だった。

静岡市で歯科医院を開業して13年。杉山和孝さんは、数え切れないほど人の歯を診てきた。日本口腔インプラント学会の認定医として、これまでに20例をこえるインプラント手術をこなし、後進の指導にもあたっている。「歯科」という、口腔内だけの治療と思われるかもしれないが、病気によつては内科的な疾患が原因にならぬ。だから、歯科医も他科のドクターと一緒に連携して、患者さんの全身をみて治療にあたらない。すべては、患者さんのためです」



STORY OF DOCTOR'S ROAD

06

親と子の
ドクターロード